



2016年8月9日
LRM 株式会社

LRMの『クラウドセキュリティコンサルティング』で ワークスアプリケーションズが国内初のISO27017 認証取得

情報セキュリティに特化したコンサルティングサービスを提供する LRM 株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役：幸松哲也、以下 LRM）は、同社の『クラウドセキュリティコンサルティング』サービスを活用した ERP パッケージソフト「COMPANY」を提供する株式会社ワークスアプリケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役最高経営責任者：牧野正幸、以下 ワークス）が、クラウド上の情報セキュリティの国際標準規格 ISO27017 認証※1 を取得したことを発表します。

ISO27017 認証取得は国内クラウド ERP ベンダーとして初。LRM が提供するコンサルティングサービスにより、わずか 1 ヶ月で取得することができました。ワークスはこの認証取得によって、人工知能を搭載したクラウド ERP 「HUE」※2 のグローバル展開を加速します。

※1：ISO27017 認証とは、クラウド/インターネット上のサービスの提供や利用に対して適用されるクラウドセキュリティの国際標準規格です。ISMS として知られる ISO27001 認証を補完する「アドオン認証」としての位置づけを有するこの規格は、これまでの ISO27001 では言及されていなかった、様々なクラウド上のリスクへの備えを示したガイドラインであり、これからの時代に必要不可欠な「クラウドセキュリティ」を実現する実践的な指針としての期待が高まっています。ISO27017 は、クラウドサービスを提供または利用する事業者・組織、もしくは提供と利用の両方を行う事業者が取得することができます。

ワークスは、同社の「HUE」をはじめとする 3 つのサービスを対象に、これらのクラウドサービスを提供および利用する立場として、ISO27017 認証を取得しました。

ワークスの ISO27017 認証取得に関わる LRM の支援内容は、同規格に準拠したクラウドセキュリティに関する新たな運用手順の策定支援、並びに研修・監査支援が中心です。

国際規格である ISO27017 は言語が英語で、クラウドサービスに関連する専門用語が頻出する難解な内容。このため、コンサルティングでは、LRM が独自に作成した専用の 79 のヒアリング項目を基に打ち合わせを進め、早期の取得を実現しました。

LRM は、ワークスの東京本社にて関連各部署の担当者と打合せを重ね、最終的にクラウドサービス利用および提供に係る新手順をワークスと共に策定しました。LRM は同社が提唱する過剰なセキュリティや無駄を省き、動きやすい体質の組織をつくる「Security Diet（セキュリティ・ダイエット）」を心掛けて、ワークスの現場従業員がサービスを運用・提供しやすい内容の新手順の策定を支援しました。

ワークスは既に ISO27001/ISMS 認証を取得し、強固なセキュリティ基盤を構築しており、今回の認証取得に伴い、クラウドサービスの提供・利用に関する手順や利用規約等を見直し、運用の変更も行いました。

早期の認証取得を目指すワークスは、ISO27001 でのコンサルティング実績があり、セキュリティ分野での信頼と迅速なサービスを提供している LRM にコンサルティングを依頼しました。







LRM は今後も、国内外の市場で活躍する企業の情報セキュリティ体制構築を支援していきます。

■ISO27001 と ISO27017 の違い

ISO27017 は、情報セキュリティマネジメントシステムの規格として有名な ISO27001/ISMS 認証をベースとする、クラウド上の情報セキュリティの第三者認証です。

ISO27001 単体で実施した各種の対策に加え、ISO27017 では、クラウド上に特化した様々なセキュリティリスクの検討、クラウドサービスの利用や提供の手順の見直し・明確化、ポリシー策定、顧客データ保管国の法令・ガイドラインの洗い出しや順守などの対策を検討・実施し、クラウド上での万全な情報セキュリティ体制の構築が必要となります。

■ISO27001 と ISO27017 の違い (続)

	ISO/IEC 27001:2013	ISO/IEC 27017:2015
 規格名称	Information security management systems	Code of practice for information security controls based on ISO/IEC 27002 for cloud services
 規格概要	情報セキュリティ マネジメントシステム	クラウドサービス運用・利用に際する 情報セキュリティ指針
 規格の対象となる 企業・団体	あらゆる企業・団体	クラウドサービスを運営している事業者 クラウドサービスを利用している事業者
 追加で検討する 管理策の数	-	79
 ISO27001との関係	-	アドオン認証
 LRM株式会社における コンサルティング費用	75万円～	50万円～(※)

※既に ISO/IEC27001:2013 認証を取得している事業者の場合

■LRM 株式会社について

LRM 株式会社（本社・大阪府大阪市）は「現場の経営に役立つ情報セキュリティサービスの提供」を掲げ、情報セキュリティに特化したコンサルティング/ソリューションサービスを主力事業として、2006年に創業しました。「過剰なセキュリティ」と「無駄な情報」を省き、動きやすい体質の組織をつくる“Security Diet（セキュリティ・ダイエット）”を提唱し、情報を守ることはもちろん、“攻めの経営”に転換できる情報セキュリティサービスを、主に小規模や中小企業向けに提供しています。P マークと ISMS 認証取得を支援するコンサルティングを主事業に、これまで支援した顧客は計 750 社以上です。（2016年8月時点）（<http://www.lrm.jp/>）

■株式会社ワークスアプリケーションズについて

日本唯一の大手企業向け ERP パッケージベンダー。同社の大手企業向け ERP パッケージソフト「COMPANY」は国産パッケージ No.1^{※3}として不動の地位を築き、人事・給与システム分野においては13年連続でトップシェア^{※4}を獲得。2014年には世界初の人工知能型 ERP「HUE」を発表した、国産 ERP パッケージのリーディングカンパニー。

※2:「HUE」は、ワークスが提供する人工知能（AI）によるビッグデータ解析を可能にした、世界初の「人工知能型」ERP システムです。世界ではじめて ERP に分散処理を採用することで、ERP への AI の搭載と、クラウド本来のメリットを享受できる“クラウドネイティブ”なシステムを実現しました。（<http://www.worksap.co.jp/hue/>）

※3: 市場占有率推移（パッケージ市場）販売社数シェア

（出典：株式会社富士キメラ総研 ソフトウェアビジネス新市場 2015 年版）

※4: 2002 年～2014 年人事給与ソリューションのライセンス売上高シェア（エンドユーザ渡し価格ベース）

（出典：株式会社矢野経済研究所調べ 2014 年 12 月現在）

URL : <http://www.worksap.co.jp/>

本件に関するプレスリリースはこちら : <http://www.worksap.co.jp/news/2016/0809/>

■本件に関するお問い合わせ先

LRM 株式会社 広報

藤居 朋之（ふじい ともゆき）

電話 : 080-4978-0964

E-mail : fujii@lrm.jp

中川 生馬（なかがわ いくま）

電話 : 080-3205-2335

E-mail : nakagawa@lrm.jp